

松本室内合奏団

第65回定期演奏会

指揮 石毛 保彦

Program

- シューベルト「ロザムンデ」序曲 D.797
- シューベルト 交響曲第7番ロ短調 D.759「未完成」
- メンデルスゾーン「真夏の夜の夢」序曲と劇中音楽 Op.21&61

2025年
6月29日(日)
14:00 開演 (13:30 開場)

松本市音楽文化ホール
メインホール

入場料:1000 円

主催: 松本室内合奏団

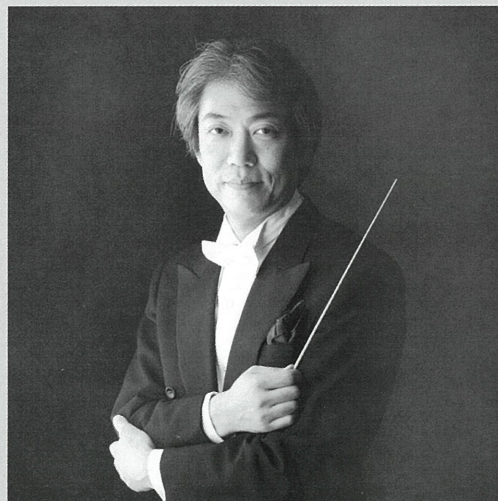
後援: 長野県・長野県教育委員会・松本市・松本市教育委員会・(公財)八十二文化財団・信濃毎日新聞社
SBC 信越放送・市民タイムス・長野エフエム放送・(公社)才能教育研究会

プレイガイド: 松本市音楽文化ホール・ミュージックプラザオグチ
問い合わせ: matsushitsu@gmail.com

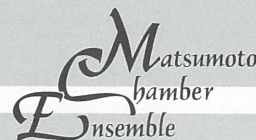
信州大学医学部卒業。医師として10数年働いたのち指揮者になる夢を棄てきれず、桐朋学園大学音楽学部に入學。指揮を黒岩英臣、秋山和慶、飯守泰次郎、高階正光、湯浅勇治、バイオリンを徳永二男、大谷康子、山岡耕作、兎束龍夫、クラリネットを二宮和子の各氏に師事する。

桐朋学園大学卒業後、桐朋学園オーケストラアカデミー(指揮専攻)においてさらに研鑽を積む。在学中、学内オーディションにおいて最優秀の成績で選ばれて桐朋学園オーケストラを指揮、またチョン・ミュンファン氏指揮、桐朋学園オーケストラによる歌劇「カルメン」公演の副指揮者を務める。韓国仁川で開かれた国際指揮ワークショップに参加、チョン・ミュンファン氏のマスターコースで薫陶を受ける。2006年アフィニス音楽祭に指揮研究員として参加。元上野学園非常勤講師。

現在、全国各地のオーケストラの指揮者として活躍している。



松本室内合奏団



1989年2月、13名の弦楽器奏者が集まり結成された。

「団員どうしが楽しく交流することはもちろん、純粋に音楽を楽しみ、また、より質の高い演奏を目指す」という指針をかけた、現在は県内より約50名の団員が集まり、2管編成のオーケストラとして、2回の定期演奏会を中心に活動を続けている。

また、松本地域の音楽文化向上のため、他の演奏団との交流も積極的に行っており、2005年7月には第6回定期演奏会より始まったベートーヴェン交響曲チクルスの集大成でもある「第9番」を信州あづみ野音楽祭にて、広上淳一氏の指揮のもと、演奏。2006年にはモーツァルト生誕250年にあたり、指揮に横島勝人氏を迎えオールモーツァルトプログラムに取り組んだ。2010年には「みんなの第九コンサート」で小林研一郎氏と共演。

また、まつもと市民オペラ、第1回「こうもり」、第2回「椿姫」、第3回「魔笛」、第4回「カメルン」、第5回「フィガロの結婚」、第6回「ちゃんちき」のオケを務める。2011年、松本市音楽文化ホール25周年記念演奏会に出演、久保田巧、鈴木学氏と共演。2015年の30周年記念演奏会にてヴァイオリンの安永徹氏と共演し、好評を博す。自らの研鑽を積むことを目的に、一流演奏家との共演も多く行っている。今までに、ヴァイオリンの宗倫匡、徳永二男、豊嶋泰嗣、ジェラルド・プーレ、チェロの林峰男、山崎伸子、ピアノの清水和音、若林颯、ハープの吉野直子、オルガンの安田紀子、ホルンの大野総一郎、ウィーンフィルのホルン奏者ヴォルフガング・トムベック各氏と共演、いずれも好評を博す。